

こたえ

「皿」を書こう

基礎 20

夕食のあと皿あらいを手つだった。

3

「皿」を使って、文を作ろう。

皿 皿

大 大 皿 皿

小 小 皿 皿

さら

おおさら

こさら

★小皿
こさ
ら

「小皿を配る。」

★大皿
おおさ
ら

「大皿にもる。」

★皿
いさ

「皿をあらう。」

受け皿
うけ
いさ
ら

「る。」

「受け皿を用意す

皿あらい
いさ
あら
い

「る。」

「皿あらいをす

2

ことばとれい文を読もう。★のことばをなぞって、書こう。

皿 皿 皿 皿 皿

1 2 3 4 5

1

書きじゅんをたしかめて、5回書こう。

皿

5画

ぶしゅ 皿
(さら)

意味

食べものをのせる入れもの。さら。

くん

さら

おうちの方へ

- 「皿」は5画。書き順の図の青い線は「いま書く画」、●は書きはじめ。3の文は一例です。
- 読みは、文部科学省「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」で小学校に割り振られた音訓です。